

# こんかいのゾーン

## SCHEDULE

日付	予定
8/1 水	定例ミーティング
8/2 木	プランター試作会
8/3 金	「真夏の種まき会」準備
8/4 土	「真夏の種まき会」準備
8/5 日	真夏の種まき会
8/6 月	
8/7 火	
8/8 水	
8/9 木	

## こんかいのまちグルメ



### 和歌山

#### アイスかげろう (株式会社福菱)

和歌山銘菓「かげろう」をアイスにした商品で、2016年から販売されています。販売元である福菱は1933年(昭和8年)創業の老舗菓子店。ふわふわのブッセ生地にアイスクリームを挟んだこの商品は、発売当初よりメディアやSNSで話題となりました。福菱オンラインショップからお取り寄せもできますが、白浜に行った際にぜひ現地で味わいたいまちグルメです。



### なつやすみ遠征レポート-北海道北見市常呂町-

今回訪れたのは北海道北見市常呂町。平昌オリンピックでの活躍が記憶に新しい、カーリング女子日本代表チーム「LS北見」の本拠地として知られています。以前から「遺跡とホタテとカーリングの町」と言われており、町内には数多くの遺跡があります。人口3700人あまりに対して、竪穴住居跡の数はなんと3000軒以上。世間では1人1台スマートフォンを持つ時代ですが、常呂町では1人1軒竪穴住居といったところでしょうか。

東京大学と常呂町の関わりは、1955年に遡ります。地元の遺跡を調査してほしいと考えていた住民の大西信武さんが、樺太から移り住んだアイヌの人々の言語調査のために町を訪れた言語学の服部四郎教授に考古学の先生を紹介してほしいと呼びかけ、翌年夏から秋にかけて東京大学考古学研究室が発掘調査を実施したのです。

その後、自然と文化の遺産を一体として保護・整備・活用することを目的として、その中核かつ観光拠点となる「ところ遺跡の森」が整備され、現在もその中に東京大学の資料陳列館や考古学研究室が設置されています。美しい木々と澄んだ空気に囲まれて、夏でも(ほぼ)快適な環境が待っています。東大生のみなさんは、毎年夏に開催される博物館学実習に参加してみたいかかでしょうか。

そんな常呂町には、地域の文化、農漁業の道具、かつて町内を走っていた国鉄湧網線に関する資料など地域の人が所有していた民具を収蔵する「郷土博物館」があります。建物は廃校となった小学校の校舎を利用しており、前日までに予約すると観覧することができます。各地の自治体で公共施設のファシリティマネジメントが課題となっていますが、地域の文化を未来に伝える「ミュージアム」の設置と、アーバンデザインセンターのようなまちづくり拠点の構想には重なる部分が多いと感じます。都市計画・まちづくりの文脈から一歩外に出て、他分野との協力関係を築いていきたいものです。

こんかいの一言▽井上：北海道滞在が残り少なくなってきて悲しいです。▽櫻本：平成最後の夏なのに全然遊んでいません。まずいです。▽木村：根津で子どもと一緒に野菜を植えました。▽原：我到了中国！中国に着きました！とても暑いですが楽しみたいと思います。▽秋月：夏に縁側で涼みたい人生でした。▽時丸：夏の代名詞、スイカを食べました。塩はかけない派です。▽久保田：院試の勉強をしています▽植田：OBとしてサークルの合宿に参加しています。後輩の若さに肩身が狭いです。